



新種モササウルス類

フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス

Phosphorosaurus ponpetelegans sp. nov.

を発表②

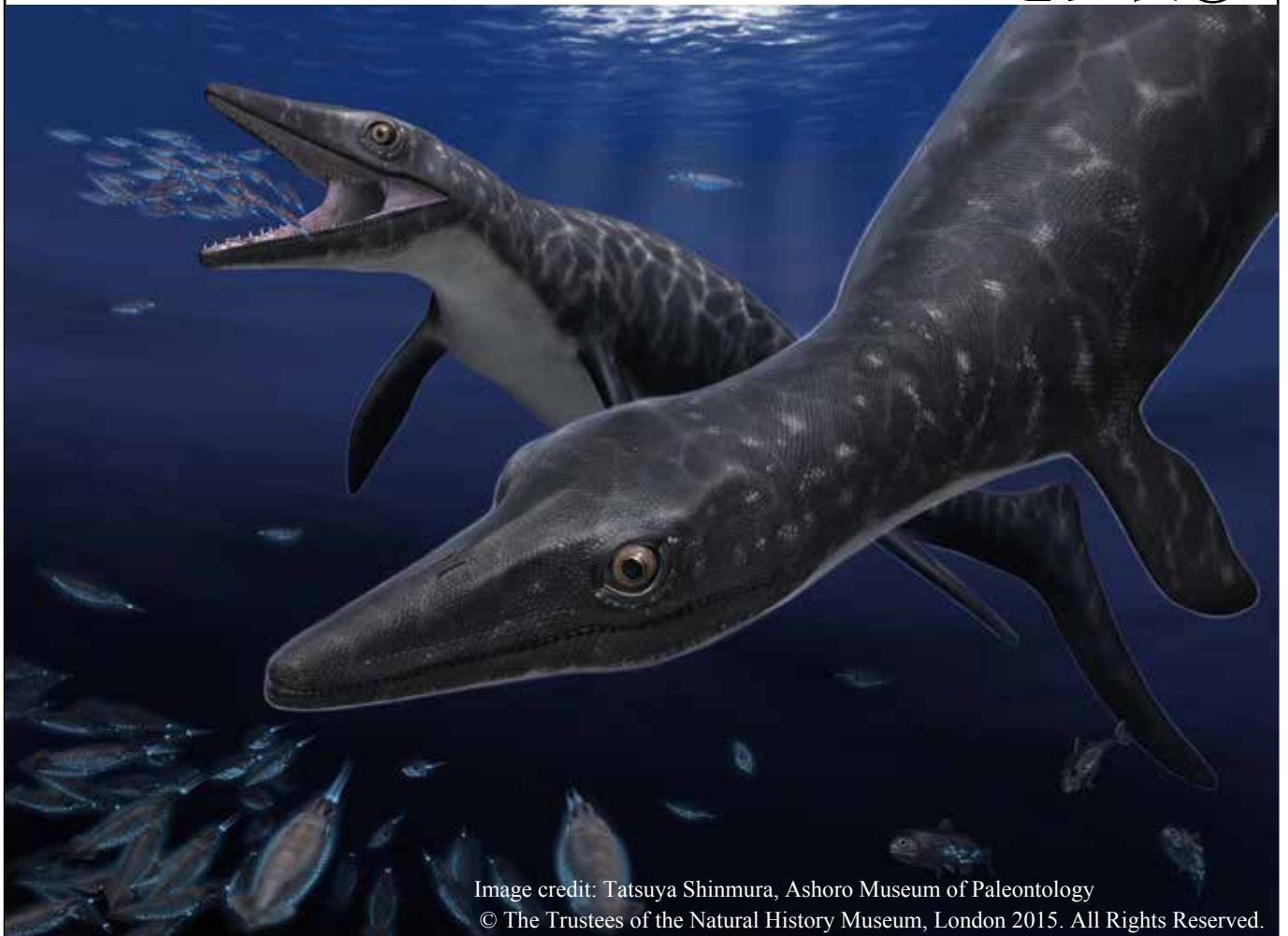


Image credit: Tatsuya Shinmura, Ashoro Museum of Paleontology

© The Trustees of the Natural History Museum, London 2015. All Rights Reserved.

フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス復元画

イラスト：新村龍也・足寄動物化石博物館、© The Trustees of the Natural History Museum, London 2015. All Rights Reserved.

新種フォスフォロサウルス・ポンペテレガンスは頭骨の形から、世界でも稀なモササウルス類ハリサウルス亜科であることが明らかになりました。ハリサウルス亜科は、これまでにヨーロッパ、アフリカ、中東、南米や北米から産出が確認されていました。今回発見されたのは、日本を含めて北西太平洋地域ではじめてのもので、このグループが北西太平洋まで分布域を広げていたことを示す極めて重要な証拠となります（図 モササウルス類ハリサウルス亜科の分布）。

この新種標本は頭骨、頸椎、肋骨が保存されていました（ホッピーだより No. 374）。その中

で頭骨は約8割が保存されており、またそれらが変形を受けていない保存状態の良いものであることから、世界でも屈指のモササウルス類化石となります。頭骨はバラバラに産出しましたが、それらのレプリカを接合し、生きていたときと同じ状態に復元することができました（ホッピーだより No. 374）。

この頭骨から、この種類はモササウルス類としてはじめて立体視ができる両眼視（両目の視野が重なり、前方のものを立体として把握できること。）であることが明らかになりました（図 モササウルス類の視野）。つまり、すぐ目の前の獲物の位置を正確に把握できる能

